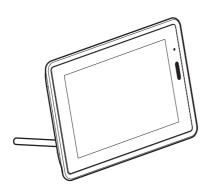
FUJIFILM

DIGITAL PHOTO FRAME

DP-70SH

使用説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございます。

この説明書には、デジタルフォトフレームの
使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

はじめに

お使いになる前に

次の手順に従って準備してください

1. 箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください（下記）。

2. デジタルフォトフレームを安全に使用されるために、「お取り扱いにご注意ください」（→ 37 ページ）をお読みください。

3. 本書をよくお読みの上、デジタルフォトフレームをお使いください。

■ 本体 1 台および付属品一覧

デジタルフォトフレーム本体

リモコン（1 個）
（リモコン用電池はあらかじめリモコンにセットされています。）

AC アダプター（1 式）
EA-85

スタンド（1 本）

・使用説明書／保証書（本書 1 部）

本書について

この使用説明書の以下のページを開くと、お探しの情報が簡単に見つかるようになっています。

使用可能なメモリーカードについて

この製品では、SD メモリーカード、xD- ピクチャーカード、メモリースティック、コンパクトフラッシュがお使いになれます。本書では、これらのカードを「メモリーカード」と表記します。
詳しくは「メモリーカードについて」（→ 46 ページ）をご覧ください。

本書での説明について

リモコン操作を基本に説明しています。
本体／リモコンで同じ名称のボタンは同じ働きをします。

本書で使われている記号について

注意：この製品を使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。

チェック：実際に操作するときに確認していただきたいことを記載しています。

メモ：使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。

液晶画面のイラストについて

本書では、液晶画面の表示を簡略化して記載しています。実際の画面と文字などの表示が一部異なることがあります。

こんな時に使いたい機能一覧

したいことや知りたいことから、使える機能の説明が記載されているページを探せます。

■ デジタルフォトフレームの設定、操作について

■ 画像の再生、表示について

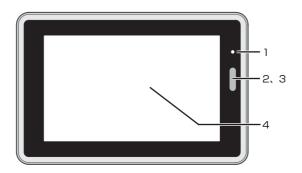
こんなことがしたい、知りたい	キーワード	ページ
画像の一覧表示から、お気に入りの画像を探したい。	インデックス表示	P. 18
お気に入りの画像を 1 枚だけ表示したい。	1 枚表示	P. 19
表示中の画像の詳しい情報を知りたい。	詳細情報表示	P. 19
画像の特定部分を拡大して表示したい。	拡大表示	P. 20
拡大した画像の表示位置を調整したい。	表示位置の調整	P. 20
拡大した画像を元のサイズに戻したい。	縮小表示	P. 20
画像を回転して表示したい。	画像回転	P. 20
カレンダーや時計だけを表示したい。	カレンダー・時計表示	P. 21
スライドショーの表示間隔、エフェクト、再生順などを変えたい。	スライドショーの設定	P. 27
予約した時刻に自動的に電源が入り、スライドショーなど画像の表示が始まるようにしたい。	ON タイマー	P. 30
予約した時刻に自動的に電源が切れるようにしたい。	OFF タイマー	P. 30

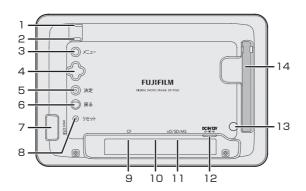
目次

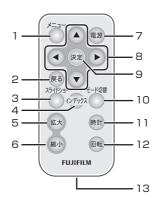
各部の名称

使い方や説明については、名称の右側に記載されているページをご覧ください。

デジタルフォトフレーム本体

■ 前面

1 明るさセンサー
2 リモコン受光部................ P.9
3 赤外線通信ポート............ P. 34
4 液晶画面

■ 背面

1 スタンバイランプ............ P.12
2 電源ボタン P.12
3 メニューボタン
4 カーソル（▲、▼、◀、▶）ボタン
5 決定ボタン
6 戻るボタン
7 mini USB B 端子 P.35
8 リセットボタン................ P.44
9 コンパクトフラッシュカードスロット................ P.15
10 メモリーカードアクセスランプ.............................. P.15
11 SD メモリーカード／xD- ピクチャーカード／メモリースティックスロット P.15
12 電源入力端子
13 スタンド用ねじ穴............ P.11
14 スタンドホルダー............ P.11

リモコン

1	メニューボタン
2	戻るボタン
3	スライドショーボタン
4	インデックスボタン
5	拡大ボタン P.20
6	縮小ボタン P.20
7	電源ボタン P.12
8	カーソル（▲、▼、◀、▶）ボタン
9	決定ボタン
10	モード切替ボタン
11	時計ボタン P.14
12	回転ボタン P.20
13	電池ホルダー P.10

使用するための準備

リモコンを準備する

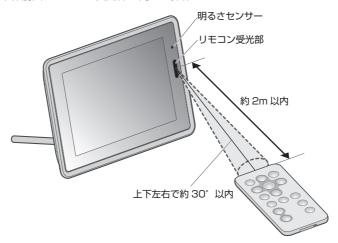
本機のリモコンには、あらかじめ電池がセットされています。
絶縁シートを引き抜いてお使いください。

絶縁シート

☛ チェック

・リモコンにセットされている電池は、お試し用の電池です。リモコンが正しく動作しなくなったときは、電池を交換してください。電池の交換手順については、「リモコンの電池を交換するときは」（→ 10 ページ）をご覧ください。

リモコンを使用するときは

リモコンを本体前面のリモコン受光部に向けて操作してください。

注意

・明るさセンサーやリモコン受光部にシールなどを貼って隠さないでください。

リモコンの電池を交換するときは

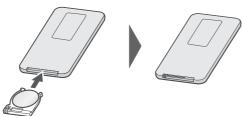
使っているうちにリモコンが正しく動作しなくなったら、市販されている新しい電池（品番CR2025）に交換してください。

1 リモコンを裏返し、電池ホルダーを引き出します。

2 古い電池を取り出し、新しい電池の＋マークが上になるようにして電池ホルダーに入れます。

注意

・電池の裏面と表面を間違えないように電池ホルダーに入れてください。

3 電池ホルダーをリモコンに差し込みます。

チェック

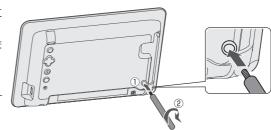
・「カチッ」となるまで差し込んでください。

スタンドでデジタルフォトフレームを立てる

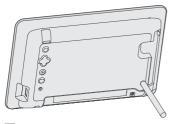
スタンドを取り付けてデジタルフォトフレームを立てます。

スタンドを取り付ける

① スタンドを取り付け用のねじ穴に入れます。
② スタンドを右に回して取り付けます。

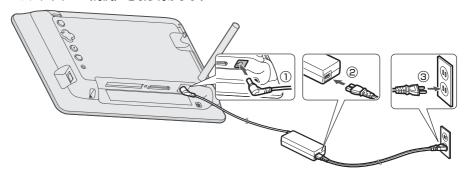
メモ
・持ち運びするときは、スタンドホルダーにスタンドを収納できます。

スタンドを収納する

① スタンドを左に回して取りはずします。
② スタンドをスタンドホルダーに入れて収納します。

スタンドを立てる

メモ
・デジタルフォトフレームは、縦置き／横置きのどちらでも立てられます。縦置きする場合は、「縦置き／横置きの設定」（→ 22 ページ）を**縦置き**に変更してください。
・設定を**縦置き**に変更した場合でも、メニュー画面（この製品の各種機能を選択する画面）は横向きで表示されます。
・デジタルフォトフレームは、角度の調整は、できません。

注意
・デジタルフォトフレームは、壁掛けで使用しないでください。また、両面テープなどで壁などに貼り付けないでください。

電源をつなぐ

AC アダプター（付属）を取り付けます。

注意

・AC アダプターは、必ず付属の製品をご使用ください。

チェック

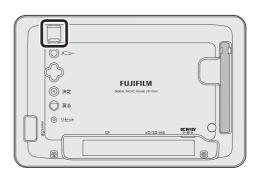
・AC アダプターを電源コンセントに接続すると、自動的にスライドショーがはじまります。

電源をオフにする／オンにする

電源をオフにする

本体またはリモコンの**電源**ボタンを押します。
背面のスタンバイランプが緑色から赤色に変わります。

電源をオンにする

本体またはリモコンの**電源**ボタンを押します。

背面のスタンバイランプが赤色から緑色に変わり、液晶画面に「FUJIFILM」(ロゴ)が表示され、スライドショーが始まります。
メモリーカードが入っていない状態で、内蔵メモリーに表示できる画像が保存されていない場合は、メニュー画面が表示されます。

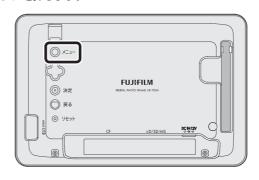
デモ画像について

工場出荷時は、内蔵メモリーにこの製品の特長機能を紹介するデモ画像が入っています。（デモ画像のスライドショーが始まります。）
デモ画像を消去する場合は、「内蔵メモリーの画像を消去する」（→ 25 ページ）の操作で消去してください。

メモ

- 画像の入ったメモリーカードが挿入されているときは、デモモードには移行せず、自動的にスライドショーが始まります。

メニューについて

本体またはリモコンのメニューボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

メニュー画面は、この製品の各種機能を選択するメインメニューです。
「スライドショー」「インデックス」「カレンダー／時計」「設定」「赤外線通信」の 5 つの項目が選択できます。メニューの選択は、本体またはリモコンのカーソル（◀ ▶）ボタンと**決定**ボタンを押します。

チェック

- 設定メニューの下の「各種設定」の項目を選択すると、**メニュー**ボタンを押してもメニュー画面は、表示されません。例えば「各種設定／ファイルの管理」や「各種設定／スライドショーの設定」、「各種設定／表示の設定」や「各種設定／時計／タイマーの設定」画面では、**メニュー**ボタンを押しても、メニュー画面は表示されません。

時計を設定する

日付時刻を設定することで、カレンダー・時計表示、ON タイマー・OFF タイマーなどが正しく動作します。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**時計／タイマーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼で**日付時刻の設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
日付時刻の設定画面が表示されます。

5 設定する項目（年、月、日、時、分、秒）を◀▶で選択し、▲▼で変更し、**決定**ボタンを押します。

6 **戻る**ボタンを押します。

メモ
・ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

設定した現在時刻を確認するには

1 リモコンの**時計**ボタンを押します。

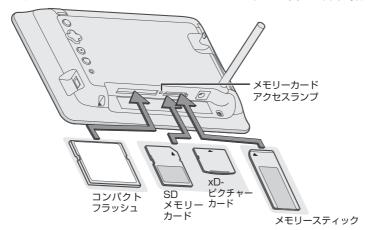
2 カレンダー 1 ～ 3 または時計 1 ～3から 1 つを選択し、**決定**ボタンを押します。
スライドショーに戻る時は、メニューまたはリモコンのスライドショーを押し、モード選択をした後、**決定**ボタンを押します。

メモ
・AC アダプターを抜いたときは日付時刻の設定は保存されません。再度設定しなおしてください。

画像を見る

デジタルフォトフレームで画像を見るための基本的な操作について説明します。

メモリーカードを入れる

メモリーカードの向きを図で確認し、カードスロットの奥まで確実にカチッとなるまで挿入します。コンパクトフラッシュのみは、カチッとなりませんので、そのまま奥まで確実に挿入します。

メモリーカード挿入時のご注意
- 電源がオフの状態のときに、メモリーカードを挿入してください。
- 斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- メモリーカードのデータは、パソコンなどで必ずバックアップを取ってから使用してください。

使用できるメモリーカードの種類について
- 詳しくは「メモリーカードについて」（→ 46 ページ）をご覧ください。

メモリーカードを取り出すときは

電源をオフにした状態で、メモリーカードアクセスランプが点灯または点滅していないことを確認して、メモリーカードを軽く押します。メモリーカードが出てきたら、取り出してください。コンパクトフラッシュは、そのまま引っ張って取り出します。

メモリーカード／内蔵メモリーの優先順位について

メモリーカードが入っていないとき：内蔵メモリーの画像が表示されます。

メモリーカードが入っているとき：メモリーカードの画像が表示されます。

2 種類のメモリーカードが入っているとき：メニュー操作で切り替えます。（→下記）

再生したい画像の入っているメモリーに切り替えるには
- 再生するメモリーカード／内蔵メモリーを、メニュー操作で切り替えることができます。詳しくは「再生メモリーを切り替える」（→ 29 ページ）をご覧ください。
- 左右のカードスロットにメモリーカードを入れたときは、右側の SD メモリーカードなどのカードスロットが優先されます。

表示できる画像のファイル形式について
- JPEG 形式の画像ファイル（Exif 規格に対応）を表示できます。JPEG 以外のファイルや、パソコンで加工したファイルは、表示できない場合があります。

画像を表示する（スライドショー）

内蔵メモリーに画像データがあるときは、保存されている画像が自動的に表示されます。
画像がある場合は、自動的にスライドショーが始まります。

チェック

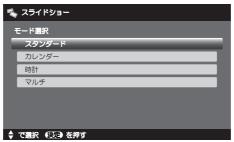
- 別のメモリー（メモリーカード／内蔵メモリー）の画像を見るときは、「再生メモリーを切り替える」（→ 29 ページ）の操作をしてください。
- スライドショーの設定（切替間隔の設定、エフェクトの設定、再生順の設定）については、「スライドショーの設定をする」（→ 27 ページ）を参照してください。

メモ

- 電源を切った状態でメモリーカードを入れ、その後に電源を入れた場合は、「FUJIFILM」（ロゴ）が表示された後、メモリーカードに保存されている画像が表示されます。
- メモリーカードが入っていない状態で、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、メニュー画面が表示されます。

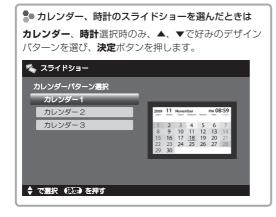
スライドショーのはじめかた

1 **スライドショー**ボタンを押して、モード選択画面を表示します。

2 ▲、▼で**スタンダード**、**カレンダー**、**時計**、**マルチ**のいずれかを選びます。

3 **決定**ボタンを押します。
スライドショーがはじまります。

カレンダー、時計のスライドショーを選んだときは

カレンダー、**時計**選択時のみ、▲、▼で好みのデザインパターンを選び、**決定**ボタンを押します。

メモ

- スライドショーのとき、**決定**ボタンを押すと、スライドショーで表示されている画面が全面表示され、スライドは停止します。
  もう一度、**決定**ボタンを押すと、スライドショーが再開します。

メモ
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

■ 表示モード（**スタンダード、カレンダー、時計、マルチ**）をリモコンで切り替えるには

スライドショー表示中に、**モード切替**ボタンを押します。
押すたびに、表示モードが順に切り替わります。

スライドショーの表示モードについて

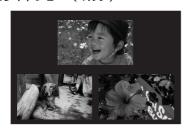
スライドショーには 4 種類の表示モードがあります。**モード切替**ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

スライドショー（スタンダード）

画像が 1 枚ずつ順番に表示されます。

スライドショー（カレンダー）

カレンダーと画像が表示されます。
カレンダーのデザインは好みに応じて選べます。

スライドショー（マルチ）

一度に 3 枚の画像が順番に表示されます。

スライドショー（時計）

時計と画像が表示されます。
時計のデザインは好みに応じて選べます。

メモ：スライドショーで表示されるカレンダーと時計について
- スライドショー（カレンダー）とスライドショー（時計）の画面は、カレンダー・時計選択画面で選んだカレンダーや時計が表示されます（→ 16 ページ）。例えば、カレンダー 2 を事前に選ぶと、カレンダー 2 が表示されます。

画像のインデックスから選択する（1 枚表示）

画像の一覧（インデックス）画面から、お気に入りの 1 枚だけを表示することができます。画像を拡大し、表示位置を調整することもできます。

インデックス画面を表示する

1 **インデックス**ボタンを押して、インデックス画面を表示します。

インデックス画面（4 × 3 枚表示）が表示されます。

インデックス画面（6 × 5 枚表示）に切り替えるときは**モード切替**ボタンを押します。

インデックス画面の表示モードについて

モード切替ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

インデックス画面（4 × 3 枚表示）

インデックス画面（6 × 5 枚表示）

1 画面に 12 枚の画像が表示されます。

1 画面に 30 枚の画像が表示されます。

メモ

・インデックス画面の右上に表示されている数字（001/002 など）は、（画面番号 / 画面総数）を表します。例えば、001/002 が表示されているときは、インデックス画面が 2 画面あり、その 1 番目のインデックス画面が表示されていることを表しています。

画像を表示する（1 枚表示）

1 **インデックス**ボタンを押して、インデックス画面を表示します。

2 ▲、▼、◀または▶で画像を選び、**決定**ボタンを押します。
1 枚表示画面（通常）が表示されます。

メモ
- インデックス画面に戻すときは、**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

チェック
- 別のメモリー（メモリーカード／内蔵メモリー）の画像を見るときは､「再生メモリーを切り替える」（→ 29 ページ）の操作をしてください。

1 枚表示画面の表示モードについて

モード切替ボタンを押すたびに表示が切り替わります。

1 枚表示画面（通常）

1 枚表示画面（詳細情報表示）

内蔵メモリー 2/41
画像サイズ ：800×480
ファイルサイズ：330KB
日付 ：2007/05/22
ファイル名 ：PIC00008.JPG
メーカー名 ：FUJIFILM
機種名 ：FinePix A900

画像サイズ、日付、ファイル名などが表示されます。

メモ
- 1 枚表示画面（詳細情報表示）で表示される情報の種類は、画像によって異なります。
- 詳細情報を表示しているときは、画像の拡大や回転ができません。

画像を見る

■ 画像を拡大するには

拡大ボタンを押し、必要に応じて▲、▼、◀または▶で表示位置を調整します。

元のサイズに戻すときは**縮小**ボタンを押します。

メモ

- 画像の拡大は 2 段階になります。
- 縮小は元のサイズまでになります。

■ 画像を回転するには

回転ボタンを押します。

1 回押すごとに、画像が反時計回り（左回り）に 90° ずつ回転します。

メモ

- 画像を回転させると、スライドショーでも回転させた向きで画像が表示されます。
- 画像の向き（縦表示、横表示）は、デジタルフォトフレームに記録されます。ただし、電源が切れたときは、もとに戻ります。
- 画像の拡大表示をしているときは、画像の回転はできません。

いろいろな機能を使う

カレンダー・時計を表示する

デジタルフォトフレームに、カレンダーや時計を画像なしで表示することができます。

カレンダー表示の一例

2009 SUNDAY	3 MONDAY	March TUESDAY	WEDNESDAY	THURSDAY	PM 05:00 FRIDAY	SATURDAY
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

画像とカレンダー・時計を組み合わせて表示するときは、「スライドショーの表示モードについて」（→ 17 ページ）で**スライドショー（カレンダー）**または**スライドショー（時計）**を選択してください。

👉 チェック

- カレンダーや時計を表示する前に、必ず日付と時刻を設定してください。日付と時刻の設定については、「時計を設定する」（→ 14 ページ）をご覧ください。
- カレンダーや時計を画像なしで表示するときは、横置きのみです。縦置きでは表示できません。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**カレンダー・時計**を選び、**決定**ボタンを押します。
カレンダー・時計選択画面が表示されます。

3 ▲、▼で好みのデザインパターンを選び、**決定**ボタンを押します。

メモ

- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

縦置き／横置きの設定をする

デジタルフォトフレームの縦置き／横置きの設定をします。
設定することで画像の表示を縦や横に切り替えることができます。
工場出荷時：横置き

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**縦置き／横置きの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 **縦置き**または**横置き**を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ

- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
- 縦置きに設定したときでも、メニュー画面やインデックス画面、設定画面、カレンダー・時計画面などは横で表示されます。

省エネモードの設定をする

デジタルフォトフレームの省エネモードの設定をします。
省エネモードを ON に設定することで、明るさセンサーが働き周囲の明るさに合わせて液晶画面の明るさを変えます。また、周囲が暗くなったときは、約 3 分後に自動的に電源が切れます。
工場出荷時：OFF

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**省エネモードの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 **ON**または**OFF**を選び、**決定**ボタンを押します。

チェック

- 各種設定起動中や赤外線通信起動中、USB 接続中は自動電源 OFF 機能は働きません。
- 薄暗い場所に設置しているときに、省エネモードに設定すると自動的に電源が切れる場合があります。そのようなときは、省エネモードを OFF に設定してください。

メモ
・ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

ファイルの管理をする

メモリーカードの画像を内蔵メモリーにコピーしたり、内蔵メモリーの画像をメモリーカードにコピーしたりできます。
内蔵メモリーの画像を消去することもできます。

メモリーカードの画像を内蔵メモリーにコピーする

使用するメモリーカードを入れておいてください。（→ 15 ページ）

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**ファイルの管理**を選び、**決定**ボタンを押します。
ファイルの管理メニューが表示されます。

4 ▲、▼で**内蔵メモリーにコピー**を選び、**決定**ボタンを押します。

5 コピーするファイルを選択します。

▲、▼でファイルを選び、**決定**ボタンを押してチェックマークを付けます。
同じ操作をくり返し、コピーするすべてのファイルにチェックマークを付けます。
全画像をコピーするときは「すべて選択」を選んでチェックマークを付けます。

6 ◀、▶で**実行**を選び、**決定**ボタンを押します。
「＊＊＊＊枚の画像をコピーしますか？」と表示されます。

7 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだファイルが内蔵メモリーにコピーされます。
「コピー中→コピーしました」と表示が出て、自動的に **3** の画面に戻ります。
ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

注意
・コピー中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。機器やメモリーカード、画像ファイルが破損する恐れがあります。

内蔵メモリーの画像をメモリーカードにコピーする

使用するメモリーカードを入れておいてください。（→ 15 ページ）

1 「メモリーカードの画像を内蔵メモリーにコピーする」（→ 23 ページ）の手順 1 〜 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。

2 ▲、▼で**内蔵メモリーからコピー**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 コピーするファイルを選択します。

▲、▼でファイルを選び、**決定**ボタンを押してチェックマークを付けます。
同じ操作をくり返し、コピーするすべてのファイルにチェックマークを付けます。
全画像をコピーするときは「すべて選択」を選んでチェックマークを付けます。

4 ◀、▶で**実行**を選び、**決定**ボタンを押します。
コピー先選択画面が表示されます。

5 ▲、▼でコピー先のメモリーカードを選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

6 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだファイルがメモリーカードにコピーされます。
「コピー中→コピーしました」と表示が出て、自動的に **1** の画面に戻ります。
ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

注意
・コピー中は、電源を切ったり、メモリーカードを取り出したりしないでください。機器やメモリーカード、画像ファイルが破損する恐れがあります。

内蔵メモリーの画像を消去する

1 「メモリーカードの画像を内蔵メモリーにコピーする」（→ 23 ページ）の手順 1 〜 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。

2 ▲、▼で**内蔵メモリーの画像を消去**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 消去するファイルを選択します。

▲、▼でファイルを選び、**決定**ボタンを押してチェックマークを付けます。
同じ操作をくり返し、消去するすべてのファイルにチェックマークを付けます。
全画像を消去するときは「すべて選択」を選んでチェックマークを付けます。

4 ◀、▶で**実行**を選び、**決定**ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

5 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。
選んだファイルが内蔵メモリーから消去されます。

メモ
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

チェック
- 内蔵メモリーの空き容量は、「本体情報の表示」（→ 28 ページ）で確認できます。
- デモ画像を消去するときは、DEMO_01 から DEMO_41 までの DEMO_ で始まる名前のファイル名のファイルを消去します。

注意
- 消去した画像は、元に戻せません。

再生メモリーの切替

詳しくは、「再生メモリーを切り替える」（→ 29 ページ）をご覧ください。

追加画像サイズ

画像を内蔵メモリーにコピーをするときに、圧縮して容量を小さくしてコピーするか、非圧縮でそのままの状態でコピーするかを設定します。
圧縮する場合は、本機の再生に適したサイズに変更されます。このとき、撮影時のカメラの情報などは、失われます。
非圧縮の場合は、画質の劣化は、ありません。しかし、ファイル容量が大きいため、圧縮する場合と比べて、保存できる画像の枚数が減ります。
工場出荷時：非圧縮

1 「メモリーカードの画像を内蔵メモリーにコピーする」（→ 23 ページ）の手順 1 ～ 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。

2 ▲、▼で**追加画像サイズ**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 **圧縮**または**非圧縮**を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ
・ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。
・コピーする画像のファイルサイズが 400KB 未満の場合は、そのままコピーされます。
・ファイル名は、圧縮、非圧縮にかかわらず、書きかわります。

赤外線受信画像の自動保存

赤外線通信で通信するときに、受信した画像を自動で保存するかどうかを設定できます。
しないに設定すると、赤外線通信で通信するときに、確認画面が表示されます。
工場出荷時：する

1 「メモリーカードの画像を内蔵メモリーにコピーする」（→ 23 ページ）の手順 1 ～ 3 の操作でファイルの管理メニューを表示します。

2 ▲、▼で**赤外線受信画像の自動保存**を選び、**決定**ボタンを押します。

3 **する**または**しない**を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ
・ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

スライドショーの設定をする

スライドショーの画像の切替間隔、切替時のエフェクト、画像の再生順などを変更できます。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**スライドショーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼で設定する項目を選び、**決定**ボタンを押します。
詳しくは下表をご覧ください。

5 設定を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ
・ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

項目	設定	工場出荷時
切替間隔の設定	5 秒／ 10 秒／ 30 秒／ 1 分／ 5 分／ 30 分／ 1 時間／ 3 時間／ 12 時間／ 24 時間	5 秒
エフェクトの設定	ランダム／ワイプ(横)／ワイプ(縦)／センターワイプ(横)／センターワイプ（縦）／レーダー／ジオメトリー／スライド／フェード	ランダム
再生順の設定	古い順／新しい順／ランダム	古い順

メモ
・エフェクトの設定とは、画像が切り替わるときに、さまざまな効果が選べます。
・古い順に設定したときは、ファイルの更新日時が古い順に再生されます。
・新しい順に設定したときは、ファイルの更新日時が新しい順に再生されます。

表示関連の設定をする

液晶画面のバックライトの明るさを調整したり、内蔵メモリーの空き容量を確認したりできます。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**表示の設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼で設定する項目を選び、**決定**ボタンを押します。

詳しくは下表をご覧ください。

5 設定を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ
・ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

項目	設定	工場出荷時
バックライトの明るさ	1 ～ 10	5
全画面表示	ON/OFF 全画面表示は、画像を画面中央にあわせて、余白がなくなるまで拡大して表示します。ただし、画面からはみ出した部分は、表示されません。	OFF
画像の縦横判別	ON/OFF 画像の縦横判別は、撮影時に記録された画像の Exif 情報から画像の縦、または横方向を読みとり、縦画像は、縦方向に表示します。	ON
本体情報の表示	内蔵メモリーの残量表示とバージョンが表示されます。	

メモ
・バックライトの明るさは、省エネモード設定中は、変更できません。変更する場合は、「省エネモードの設定をする」（→ 22 ページ）の操作で省エネモードの設定を **OFF** にしてください。
・全画面表示をＯＮに設定していても、横長の画像を縦置きの設定で表示する場合や縦長の画像を横置きの設定で表示する場合などは余白が残ります。

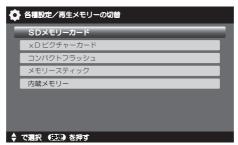
再生メモリーを切り替える

再生したい画像の入っているメモリー（メモリーカード／内蔵メモリー）に切り替えます。
工場出荷時：内蔵メモリー

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
各種設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**再生メモリーの切替**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 ▲、▼でいずれかのメモリーカード／内蔵メモリーを選び、**決定**ボタンを押します。

チェック
- 画面は、SD メモリーカードのみが入った状態の例です。
- 挿入されているメモリーカードのみ選択できます。

メモ
- ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

いろいろな機能を使う

タイマーを設定する

タイマーを設定することで、省エネルギーに配慮した使い方ができます。例えば、午前７時にON タイマーで電源をオンにして、午後９時にOFF タイマーで電源をオフにします。そうすれば、使用しない時間は、電源が入っていないので、電気代を節約できます。

メモ：タイマーを設定する前に時計を設定しましょう

・「時計を設定する」（→ 14 ページ）をご覧ください。

タイマーを設定する

2 種類のタイマーを使えます。

ON タイマー	予約した時刻になると、自動的に電源が入り、スライドショーなど画像の表示が始まります。
OFF タイマー	予約した時刻になると、自動的に電源が切れます。

ここではON タイマーを例に説明します。
OFF タイマーも基本的な操作のしかたは同じです。

■ タイマーのON/OFF（入／切）を設定する

工場出荷時：OFF

1. **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。
2. ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
   各種設定画面が表示されます。
3. ▲、▼で**時計／タイマーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
   各種設定／時計／タイマーの設定画面が表示されます。

4. ▲、▼で**タイマーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
   各種設定／タイマーの設定画面が表示されます。
5. ▲、▼で **ON タイマー設定**を選び、**決定**ボタンを押します。
6. ▲、▼で **ON** を選び、**決定**ボタンを押します。
   ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

チェック

・各種設定起動中や赤外線通信起動中、USB 接続中は自動電源 OFF 機能は働きません。

■ タイマーの予約時刻を設定する

1. 「タイマーのON/OFF(入／切)を設定する」(→30ページ)の手順１～３の操作で、各種設定／時計／タイマーの設定画面を表示します。

2 ▲、▼で**タイマーの設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

各種設定／タイマーの設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で **ON タイマー時刻設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

4 設定する項目（時、分）を◀ ▶で選択し、▲▼で変更し、**決定**ボタンを押します。

ひとつ前の画面に戻るとき：**戻る**ボタンを押します。

初期化について

2 種類の初期化があります。

各種設定項目の初期化	変更した設定の値がすべて工場出荷時の状態に戻ります。
内蔵メモリーの全消去	内蔵メモリーに保存したデータがすべて消去されます。

注意

・**内蔵メモリーの全消去**を実行すると、この製品に保存した画像はすべて消去されます。誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、あらかじめメモリーカードなどにコピーしておいてください。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**設定**を選び、**決定**ボタンを押します。

設定画面が表示されます。

3 ▲、▼で**設定**／**内蔵メモリーの初期化**を選び、**決定**ボタンを押します。

各種設定／設定／内蔵メモリーの初期化が表示されます。

4 ▲、▼で初期化の種類を選び、**決定**ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

5 ▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。

選んだ初期化が実行されます。

設定メニュー（初期値一覧表）

<table>
<tr><th colspan="3">設定内容</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td colspan="3">縦置き／横置きの設定</td><td>横置き</td></tr>
<tr><td colspan="3">省エネモード</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td rowspan="6">ファイルの管理</td><td colspan="2">内蔵メモリーにコピー</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">内蔵メモリーからコピー</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">内蔵メモリーの画像を消去</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">再生メモリーの切替</td><td>内蔵メモリー</td></tr>
<tr><td colspan="2">追加画像サイズ</td><td>非圧縮</td></tr>
<tr><td colspan="2">赤外線受信画像の自動保存</td><td>する</td></tr>
<tr><td rowspan="3">スライドショーの設定</td><td colspan="2">切替間隔の設定</td><td>5 秒</td></tr>
<tr><td colspan="2">エフェクトの設定</td><td>ランダム</td></tr>
<tr><td colspan="2">再生順の設定</td><td>古い順</td></tr>
<tr><td rowspan="4">表示の設定</td><td colspan="2">バックライトの明るさ</td><td>5</td></tr>
<tr><td colspan="2">全画面表示</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td colspan="2">画像の縦横判別</td><td>ON</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体情報の表示</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">再生メモリーの切替</td><td>内蔵メモリー</td></tr>
<tr><td rowspan="5">時計／タイマーの設定</td><td colspan="2">日付時刻の設定</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="4">タイマーの設定</td><td>ON タイマー設定</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>ON タイマー時刻設定</td><td></td></tr>
<tr><td>OFF タイマー設定</td><td>OFF</td></tr>
<tr><td>OFF タイマー時刻設定</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">設定／内蔵メモリーの初期化</td><td colspan="2">各種設定項目の初期化</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">内蔵メモリーの全消去</td><td></td></tr>
</table>

赤外線通信で通信する

デジタルカメラや携帯電話からの画像を受信する

赤外線通信機能を持つデジタルカメラや携帯電話から、デジタルフォトフレームに画像を送信して、内蔵メモリーに画像を表示したり保存したりできます。

対応する赤外線通信規格について

・IrSS、IrSimple のいずれかに対応している必要があります。ただし、使用する相手の機器によっては、対応する通信機能を搭載していても通信できない場合があります。

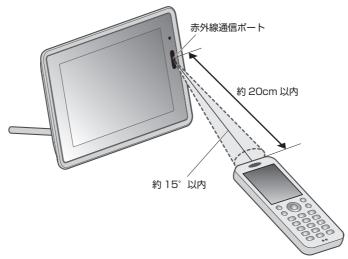
1 **メニュー**ボタンを押して、メニュー画面を表示します。

2 ◀、▶で**赤外線通信**を選び、**決定**ボタンを押します。

赤外線通信待ち受け画面が表示されます。

メモ

・待ち受け画面は、約 3 分経過すると、メニュー画面に戻ります。データ送受信の前にメニュー画面に戻ってしまったときは、再度待ち受け画面を表示させてください。

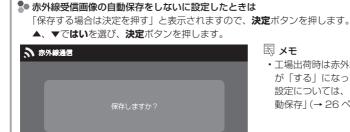
3 本体前面の赤外線通信ポートの正面に、通信する機器（デジタルカメラや携帯電話）の赤外線通信ポートを向けます。

両ポートの角度は上下左右を 15°以内、機器間は 5 ～ 20cm 離します。

4 通信する相手機器側で、画像を送信します。

詳しくは機器のマニュアルを参照してください。
通信が開始されると「データ受信中」と表示され、続いて通信が確立すると「データ展開中」と表示されます。
しばらくするとデジタルフォトフレームの画面に受信データ（画像）が表示されます。

赤外線受信画像の自動保存をしないに設定したときは

「保存する場合は決定を押す」と表示されますので、**決定**ボタンを押します。
▲、▼で**はい**を選び、**決定**ボタンを押します。

メモ

- 工場出荷時は赤外線通信画像の自動保存が「する」になっています。
  設定については、「赤外線受信画像の自動保存」（→ 26 ページ）をご覧ください。

戻るボタンを押します。赤外線通信待ち受け画面に戻ります。

5 通信を終了するときは、**戻る**ボタンを押します。

メモ

- メニュー画面に戻るとき：**メニュー**ボタンを押します。

注意
・うまくいかないときは、機器の間に障害物がないこと、赤外線通信ポートが正しく向き合っていることを確認してください。
・直射日光の下、または蛍光灯の真下で赤外線通信をしないでください。
・テレビやビデオのリモコンなど他の赤外線通信機器や、ノイズを発生する機器が近くにあると、正しく通信できないことがあります。

パソコンと USB で接続する

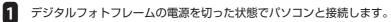
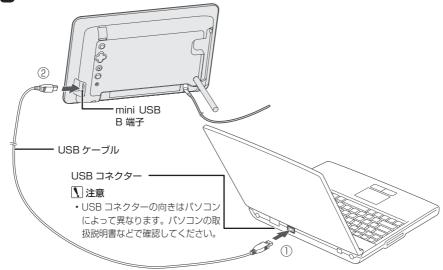
デジタルフォトフレームの内蔵メモリーの画像をパソコンで見たり、画像のやりとり（コピー）ができます。

対応するパソコンの動作環境について

OS	Windows Vista（SP1 以上）32bit 版 Windows XP HomeEdition（SP2 以上）32bit 版 Windows XP Professional（SP2 以上）32bit 版 Windows 2000（SP4 以上）32bit 版	・左記の OS がプレインストールされたモデル ・自作パソコンやOSをアップグレードしたパソコンは動作保証外です。
端子	USB ポートは、パソコン本体標準の USB ポートをご使用ください。	パソコン本体標準以外の USB ポートは、動作保障外です。

パソコンと接続して画像をやりとりする

チェック
・パソコンとの接続には、市販の USB ケーブル（A—miniB プラグタイプ）が必要です。
・USB ケーブルは、プラグの向きを確認し、端子の奥まで確実に差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由せずに、直接パソコンと接続してください。

1 デジタルフォトフレームの電源を切った状態でパソコンと接続します。

2 デジタルフォトフレームの電源を入れます。

3 パソコンの画面に「自動再生」ウィンドウが表示されたら、「フォルダを開いてファイルを表示」をクリックします。

「自動再生」ウィンドウが表示されないときは、「マイコンピュータ」からリムーバブルディスクを選んで開きます。

4 画像のコピーなどを終了したら、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作をして、接続を外します。

注意

- 通信中は、USB ケーブルを抜かないでください。画像ファイルが破損する恐れがあります。
- 各種設定起動中や、赤外線通信の起動中は、USB 接続をしないでください。USB 接続するときは、デジタルフォトフレームの電源を切ってから、その後で USB ケーブルを接続してください。
- 内蔵メモリーをパソコンなどの他の機器を使って初期化（フォーマット）しないでください。

メモ

- USB で接続できるのはパソコンだけです。デジタルカメラなど他の機器は接続できません。
- パソコンとの接続中は、デジタルフォトフレーム側の操作はできません。デジタルフォトフレームを操作するときは、パソコンとの接続を外してください。
- 初めてパソコンと接続するときは、パソコンでの認識に時間がかかることがあります。
- デジタルフォトフレームは、パソコンと接続してメモリーカードリーダーとしては、使用できません。

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください

安全上のご注意

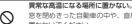
このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。
・ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
・お読みになったあとは大切に保管してください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。	
⚠ 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。	
⚠	このような絵表示は､気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⊘	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告	
電源プラグを抜く	**異常が起きたら電源を切り、電池や AC アダプターを外す。** 煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ・お買上げ店にご相談ください。
水ぬれ禁止	**内部に水や異物を落とさない。** 水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池や AC アダプターを外す。 そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。 ・お買上げ店にご相談ください。
風呂、シャワー室での使用禁止	**風呂、シャワー室では使用しない。** 火災・感電の原因になります。
分解禁止	**分解や改造は絶対にしない (ケースは絶対に開けない)。落としたり、ケースが破損したときは使用しない。** 火災・感電の原因になります。 ・お買上げ店にご相談ください。
⊘	**接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。** コードに傷がついて、火災感電の原因になります。 ・コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。
⊘	**不安定な場所に置かない。** バランスがくずれて倒れたり落下したりして、けがの原因になります。
⊘	**雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。** 落雷すると誘電雷により感電の原因になります。
⊘	**指定外の方法で電池を使用しない。** 極性 (⊕⊖) 表示どおりに入れてください。
⊘	**電池を分解、加工、加熱しない。** **電池を落としたり、衝撃を加えない。** **電池をショートさせない。** **電池を金属製品と一緒に保管しない。** 電池の破裂･液漏れにより、火災･けがの原因になります。
⊘	**指定外の電池や AC アダプターを使用しない。** 表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。 火災の原因になります。
⊘	**液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やけがのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。**

⚠ 警 告	
	電池は、乳幼児に触れさせないこと。 電池は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
	メモリーカードは、乳幼児に触れさせないこと。 メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注 意	
⊘	**油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。** 火災・感電の原因になることがあります。
⊘	**異常な高温になる場所に置かない。** 窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないでください。 火災の原因になることがあります。
⊘	**小さいお子機の手の届くところに置かない。** けがの原因になることがあります。
⊘	**本機の上に重いものを置かない。** バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。
⊘	**AC アダプターを接続したまま移動しない。AC アダプターを抜くときは、接続コードを引っ張らない。** 電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
⊘	**電源プラグが痛んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。** 火災・感電の原因になることがあります。
⊘	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。** 感電の原因になります。
⊘	**本機や AC アダプターを布や布団でおおったりしない。** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
⊘	**液晶画面は、傷が付きやすいので、先のとがったもの（シャープペンシル、ボールペンなど）で液晶画面をたたいたり、ひっかいたりしない**
❗	**お手入れの際や長時間使用しないときは、電池や AC アダプターを外し、電源プラグを抜く。** 火災・感電の原因になることがあります。
	メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。 飛び出したカードが当たり、けがの原因になることがあります。

電源についてのご注意

※ご使用になる電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池を上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池の寿命が短くなるばかりか、液もれ、発熱・発火の恐れがあります。

危険ですので、次のことにご注意ください

火気に近づけたり、火中に投げ込んだりしないでください。

分解したり、改造したりしないでください。

・強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
・水にぬらさないようご注意ください。
・端子は常にきれいにしておいてください。
・長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、使用していると、本体が熱を帯びますが、故障ではありません。

■ AC アダプターについてのご注意

必ず付属の AC アダプター（JEITA 規格、極性統一形プラグ付き) をお使いください。付属品以外の AC アダプターをお使いになると故障する原因となることがあります。
・室内専用です。
・電源入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
・AC アダプターは、本製品以外には使用しないでください。
・電源入力端子から接続コードを抜くときは、本機の電源を切って、プラグを持って抜いてください (コードを引っ張らないでください)。
・使用中、AC アダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
・分解したりしないでください。危険です。
・高温多湿のところでは使用しないでください。
・落としたり、強いショックを与えないでください。
・内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
・ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ソフトウェアに関するご注意

■使用説明書について

使用説明書はパーソナルコンピュータ (以下パソコンといいます) と Windows の使用方法に関する基本的な知識をお持ちになっていることを前提として書かれています。
パソコンと Windows の使用方法については、それぞれに付属のマニュアルをご覧ください。

お使いになる前のご注意

ご使用になる前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

■著作権についてのご注意

著作権の目的となっている画像やファイル転送及び表示は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。
・皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
・目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
・飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。
大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■商標について

・xD-Picture Card ™、xD- ピクチャーカード ™ は富士フィルム (株) の商標です。
・Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
・IrSimple™ は Infrared Data Association® の商標です。IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
・SDHC ロゴは商標です。
・SD メモリーカードはパナソニック株式会社、米国サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
・miniSD™microSD™ は SD アソシエーションの商標です。
・マルチメディアカードは独 Infineon Technologies AG 社の登録商標です。
・コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米国サンディスク社の商標です。
・メモリースティック ™、メモリースティック Duo™、メモリースティックマイクロ ™、メモリースティック PRO™、メモリースティック PRO Duo™、メモリースティック PRO-HGDuo™ はソニー株式会社の商標です。
・著作権表示
FlashFX® is a registered trademark of Datalight, Inc.
FlashFX® Copyright 1998-2008 Datalight, Inc.
U.S.Patent Office 5,860,082/6,260,156
FlashFX® Pro™ is a trademark of Datalight,Inc.
Datalight® is a registered trademark of Datalight,Inc.
Copyright 1989-2008 Datalight, Inc., All Rights Reserved
・その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

・本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。
本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

使用上のご注意

■避けて欲しい保存場所

次のような場所での本機の使用・保管は避けてください。
・雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
・直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
・極端に寒いところ
・振動の激しいところ
・油煙や湯気の当たるところ
・強い電磁場の発生するところ (放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど)
・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露 (つゆつき) にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部に水滴がつくこと (結露) があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、電池またはメモリーカードを取り外して保管してください。

■本機のお手入れ

・液晶モニター表面などの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
・液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
・本機の本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

メモリーカード / 内蔵メモリーについてのご注意

■メモリーカード取扱上のご注意

・メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
・メモリーカードを本機に入れるときは、まっすぐに挿入してください。
・メモリーカードの記録中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
・指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になると本機の故障の原因になります。
・強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
・静電気を帯びたメモリーカードを本機に入れると、本機が誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
・ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
・長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
・メモリーカードにはラベル類は一切はらないでください。
メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■内蔵メモリーについて

・内蔵メモリー内の画像は、本機の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。大切なファイルは、メモリーカードや別のメディア (ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など) にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。
・内蔵メモリーをパソコンなどの他の機器を使って初期化（フォーマット）しないでください。
・修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
・本機の修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

トラブルシューティング／ FAQ

デジタルフォトフレームの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

■ 電源

症状	ここをチェック！	処置	ページ
電源が入りません。	AC アダプターは正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	12
使用中に電源が切れました。	省エネモードの設定を ON にしていませんか？	省エネモードの設定を OFF にしてください。	22
	OFF タイマーを使用していませんか？	OFF タイマーの設定を OFF にしてください。	30

■ 画像の表示

症状	ここをチェック！	処置	ページ
画像が表示されません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	挿入の向きなどを確認して正しく挿入してください。	15
	内蔵メモリーやメモリーカードに画像は保存されていますか？	デジタルカメラやパソコンでメモリーカード内に画像が保存されているかを確認した後に、再度、メモリーカードに画像を保存してください。	16
	画像は、この製品で表示できるファイル形式ですか？	JPEG 形式の画像ファイルを使用してください。	45
	画像をパソコンで加工していませんか？	加工したファイルは、正しく表示されない場合があります。	–
再生したい画像が見つかりません。	再生したい画像の入っているメモリー（メモリーカード／内蔵メモリー）に切り替えていますか？	再生メモリーを切り替えてください。	29
	画像をパソコンで加工していませんか？	パソコンで加工した画像は読めない場合があります。	–

■ ファイルの管理

症状	ここをチェック！	処置	ページ
メモリーカードの画像を内蔵メモリーにコピーできません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	挿入の向きなどを確認して正しく挿入してください。	15
	内蔵メモリーに十分な空きはありますか？	内蔵メモリーの残量を確認し、必要に応じて内蔵メモリーの画像を消去してください。	28
内蔵メモリーの画像をメモリーカードにコピーできません。	メモリーカードは正しく挿入されていますか？	正しく挿入してください。	15
	メモリーカードが書き込み禁止（LOCK など）になっていませんか？	メモリーカードの説明書を参照して書き込み禁止を解除してください。	–
	メモリーカードに十分な空きはありますか？	メモリーカードの残量を確認し、必要に応じてメモリーカードの画像を消去してください。	–

■ パソコンとの接続

症状	ここをチェック！	処置	ページ
パソコンと接続したが、この製品の内蔵メモリーが認識されません。	USB ケーブル（市販品）は正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	35
	パソコンは、必要な動作環境を満たしていますか？	対応するパソコンをお使いください。	35

■ その他

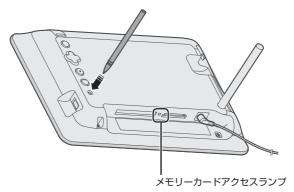
症状	ここをチェック！	処置	ページ
操作しても動きません。	画像のコピーをしていませんか？	複数の画像のコピーをしていると動作しないことがありますが、故障ではありません。しばらくお待ちください。 もし、しばらく待っても動作しないときは、リセットボタンを押す前に、メモリーカードアクセスランプが点灯、または点滅していないことを確認した後で、「リセットボタン」（→ 44ページ）を参照してリセットしてください。電源を入れた直後の状態に戻ります。	44
リモコン操作しても動かなくなりました。	電池が消耗していませんか？	電池を交換してください。	10
日付や時間の設定が設定前の状態に戻りました。	AC アダプターを抜いたり、停電などによって、電源が切れたことはありませんか？	日付時刻の設定は保存されませんので、電源が切れたときは、日付時刻を再設定してください。	14

警告表示

デジタルフォトフレームに表示される警告には、以下のものがあります。

	警告表示	警告内容	処置	ページ
操作関連	コピー先の容量が不足しています。	メモリーカードなどのコピー先の空き容量が不足しています。	メモリーカードなどのコピー先の中身を整理して、空き容量を増やしてください。	25 28
	取扱可能な最大画像数を超えています。コピーできません。	本機で取り扱える画像数は、内蔵メモリーとメモリーカードを合わせて最大で 9999 枚です。	不要な画像を削除してください。	25
	読み込み専用のデータです。	画像データに読み込み専用の設定がされています。	パソコンなどで読み込み専用を解除してください。	—
	コピーできませんでした。	内蔵メモリーやメモリーカードにコピーすることができませんでした。	メモリーカードをご確認ください。	—
メモリーカード関連	メモリーカードが書き込み禁止になっています。	メモリーカードが書き込み禁止状態になっています。メモリーカードにライトプロテクト機能がある場合は、解除してください。	メモリーカードのライトプロテクト機能の解除方法については、メモリーカードの説明書を参照してください。	—
赤外線通信関連	このデータは、表示できません。	データが壊れている。または表示できない形式のファイルを使用していませんか？	ファイルの形式が JPEG 形式かどうかをご確認ください。	—
	写真データの容量が大きすぎます。	デジタルフォトフレームで使用できる大きさを超えた画像データを開こうとしています。	表示できる容量（6MB 以下）かをご確認ください。	—
	写真のサイズが大きすぎます。	デジタルフォトフレームで使用できるサイズを超えた画像データを開こうとしています。	表示できるサイズかをご確認ください。 最大再生画素数は、6400 万画素（8,000 × 8,000 画素）になります。縦、または横が 8,000 画素を超えるサイズの画像は、再生できません。	—
	受信に失敗しました。通信機器を本体の受光部に近づけて再度送信してください。	赤外線で通信できる範囲を超えています。	赤外線通信をする機器を受信できる範囲まで近づけるか、位置を調節してください。	34
	取扱可能な最大画像数を超えています。赤外線通信できません。	本機で取り扱える画像数は、内蔵メモリーとメモリーカードを合わせて最大で 9999 枚です。	不要な画像を削除してください。	25

リセットボタン

操作しても、この製品が反応しなくなった場合は、電源がオンの状態で、先の細いものを使って本体背面のリセットボタンを押してください。
電源を入れた直後の状態に戻ります。

注意

- リセットボタンを押す前にメモリーカードアクセスランプが点灯、または点滅していないことを確認してください。
- リセットボタンを押しても、設定内容や日付時刻、内蔵メモリー内のデータは保持されています。

資料集

用語の解説

Exif:
デジタルカメラ用の画像ファイルの規格です。撮影した画像に、次のような情報を記録することができます。
・撮影日時
・解像度
・撮影方向
・画像の撮影に使用した機材（デジタルカメラなど）のモデル名
デジタルフォトフレームの一覧画面で使用している縮小画像は、Exif で保存されているものを使用しています。

IrSimple：
Infrared Simple の略で、赤外線通信規格の 1 種。従来の IrDA 方式と互換性があり、カメラ付き携帯電話やデジタルカメラ、小型プリンターに搭載される場合が多いです。

IrSS：
Infrared Simple Shot の略で、赤外線通信規格の 1 種。IrSimple の簡易版で、IrSimple 1.0 準拠の片方向通信機能の別称です。

JPEG：
Joint Photographic Experts Group の略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。
デジタルカメラやパソコン、携帯電話で見ることができます。

インデックス：
画像を探しやすいように、縮小表示した複数の画像を、一覧できる形で画面に表示する機能。

スライドショー：
複数の画像を一定時間毎に切り替え、連続して表示する機能。スライドショー中、ある画像から次の画像に切り替わるときの視覚効果を「エフェクト」などと呼びます。

メモリーカードについて

本機では、以下の市販のメモリーカードの動作を確認しています。
本書では、以下の xD- ピクチャーカード、SD メモリーカード、メモリースティック、コンパクトフラッシュを総称して「メモリーカード」と表記しています。

xD- ピクチャーカード

xD- ピクチャーカード	2GB まで

SD メモリーカード

本書では、以下のものをまとめて「SD メモリーカード」と表記しています。

SD メモリーカード	2GB まで
miniSD カード※	2GB まで
microSD カード※	2GB まで
SDHC メモリーカード	32GB まで
miniSDHC カード※	4GB まで
microSDHC カード※	4GB まで
マルチメディアカード	4GB まで

※本機で使用するには、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

メモリースティック

本書では、以下のものをまとめて「メモリースティック」と表記しています。

メモリースティック	128MB まで
メモリースティック Duo※	128MB まで
メモリースティック マイクロ※	1GB まで
メモリースティック PRO	1GB まで
メモリースティック PRO Duo※	16GB まで
メモリースティック PRO-HG Duo※	8GB まで

※本機で使用するには、それぞれのカードに付属しているアダプター、または市販のカードアダプターが必要です。

コンパクトフラッシュ

コンパクトフラッシュ	16GB まで

注意

- 対応表の範囲内の、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。
- 本機に挿入されたメモリーカードを無理に抜き取ると、本機やメモリーカードが破損することがあります。
- メモリーカードを抜き取るときに、金属端子部分に手や金属を触れないでください。
- カードアダプターを使用して本機に取り付けたメモリーカードを取り外すときは、カードアダプターごと完全に取り外してください。カードだけを取り外して、カードアダプターが本機に残っていると、正しく動作しなくなることがあります。
- 画像の表示中に、メモリーカードを取り外さないでください。データが消えたり、故障の原因になることがあります。

主な仕様

液晶	液晶タイプ	ASV 液晶（Advanced Super View 液晶）
	液晶画面サイズ	7 型
	表示エリア	152 × 91mm
	解像度	WVGA（横 800 ×縦 480）
	表示色	1,619 万色
	総ドット数	1,152,000 ドット（800 × 480 × RGB）
	アスペクト比	15：9
	視野角	左右 176°、上下 176°
	輝度	約 350cd/㎡
	液晶バックライト寿命	約 20,000 時間
	コントラスト比	約 1000：1
その他	最大再生画素数	6,400 万画素（最大 8,000 × 8,000 画素）
	内蔵メモリー	256MB
	最大表示画像数	9,999 枚
インターフェース	USB 端子（デバイス）	miniUSB（B タイプ）× 1
	メモリーカードスロット	スロット 1：xD- ピクチャーカード／ SD メモリーカード／メモリースティック スロット 2：コンパクトフラッシュカード
	赤外線ポート	IrSS ／ rSimple 受信用× 1 専用リモコン用× 1
対応ファイル	JPEG（ベースライン）	
電源	AC 100V ± 10%　50/60Hz（専用 AC アダプター）	
消費電力	動作時　約 8W ／待機時　約 2W	
サイズ（約 mm）	幅 204 ×高さ 134 ×奥行き 25.5（突起部／スタンド含まず）	
質量	約 430g（スタンド含む）	

注意

- 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 液晶画面は、非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応メモリーカードなど記載している情報は、2009 年 2 月現在のものです。
- 視野角、輝度、コントラスト比は液晶パネル単体での測定値です。

索引

[ま]

[や]

[ら]

アフターサービスについて・保証書

保証書

・保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
・保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪い時はまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障か迷うときは、FinePix サポートセンターへお問い合わせください。
電話番号が裏表紙に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フイルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フイルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が裏表紙にあります。依頼方法は、次のページの中からお客様のご都合によりお選びください。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

・本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
・修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
・落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合もあります。
・内蔵メモリー内の画像は、本機の故障などによりデータが壊れたり、消失することがあります。
大切なファイルは別のメディア (ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など) にコピーして、バックアップしてください。修理に出すときには、内蔵メモリー内のデータは消してください。内部の基板交換等した場合、内蔵メモリー内のデータは保証できません。本機の修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

■ 修理部品について

・本製品の補修用部品は、製造打ち切り後 8 年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。
・本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。

2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。

3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、FinePix サポートセンター等のお問合せ先、富士フイルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

修理の依頼方法は、下記の中からお客様のご都合に合わせてお選びください。

●富士フイルム修理サービスセンターへの送付修理

・ご依頼の際「修理依頼票」を記載の上修理依頼品に添付してください。
・修理料金は、修理完了品お届け時に宅配業者に直接お支払いください。

●お買い上げ店への持込修理

・修理料金及びその支払い方法については、お持ちいただいたお店にご確認ください。

修理依頼票

※予め 51 ページの「個人情報の取扱について」をご確認ください。
※本紙は拡大コピーしてお使いください。※下表の□は、該当する項目にチェック（✔）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お 名 前		FAX 番号	
ご 住 所	〒　　　ー		
ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体裏面に記載してある 8 桁の番号です。 修理お問合せ時にご連絡ください。	NO.		
修理品への添付	□保証書　・　□メモリーカード　・　□バッテリー		
□（　　）　□（　　） □（　　）　□（　　）			
見積	□要（修理金額　　　円以上見積り）　・　□不要		
見積連絡方法	□電話　・　□ＦＡＸ		
故障症状（故障時の様子）			
ご購入時期	20　年　月		
修理履歴	□初回　・　□再依頼　（□同一症状　・　□別症状）		
発生状況　発生頻度	□開始時のみ　・　□いつも　・　□時々（　日に　回）		
発生状況　動作モード	□再生時　・　□ショックを与えると		
発生状況　他機との接続	□無　・　□有（接続機　　）		
発生状況　使用電源			

FUJIFILM　保証書

富士フイルム株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3

<table>
<tr><td>型名</td><td colspan="2">デジタルフォトフレーム　DP-70SH</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保証
期間</td><td colspan="2">本　体　　　　　　　　　1　年</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>お買上げ店
住所・店名</td><td colspan="2">㊞
電話　　—　　—</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>お買上げ日　　　年　　　月　　　日</td></tr>
</table>

本書は、本書記載内容（次ページ記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。
修理ご依頼の際には、商品と本書を富士フイルム修理サービスセンターまたは弊社サービスステーション、もしくはお買上げの販売店にご持参ください。⇒次ページの保証規定をご覧ください。

使い方のお問い合せ：FinePix サポートセンター　TEL　0570-00-1060
月曜日～金曜日 9：00 ～ 17：40　土曜日 10：00 ～ 17：00　日・祝日・年末年始を除く

修理のお問い合せ：富士フイルム修理サービスセンター
ナビダイヤル　0570-00-0081　呼び出し音の前に NTT より通話料の目安をお知らせします。
PHS、IP 電話、NTT 以外の固定電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合は、0228-35-3586
月曜日～金曜日 9：00 ～ 17：40　土曜日 10：00 ～ 17：00　日・祝日・年末年始を除く

This warranty is valid only in JAPAN.

製品保証規定

1. 保証期間内に、使用説明書、注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、弊社サービスステーションまたはお買上げ店にて無料修理いたします。
2. 無料修理を受ける場合は、商品と本書をご提示の上、富士フイルム修理サービスセンターまたは弊社サービスステーションもしくはお買上げ店に依頼してください。なお、お届け頂く際の運賃などの諸費用は、お客様でご負担願います。
3. ご贈答品、ご転居後の修理については、弊社サービスステーションにご相談ください。
4. 保証期間内でも、次の場合には有償修理になります。

(1) 業務用の長時間使用、車両、船舶などへ搭載して使用された場合の故障、損傷、および消耗部分を交換した場合
(2) 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの
(3) 保証書にお買上げ日、お買上げ店名の記載がない場合あるいは、これらの字句を書き換えられた場合
(4) ご使用上の誤り、および富士フイルム修理サービスセンターまたは弊社サービスステーション以外での修理・調整による故障および損傷
(5) お買上げ後の、落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などによる故障・損傷
(6) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障・損傷
(7) 故障の原因が本製品以外（電源、他の機器など）にあって、修理した場合
(8) 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障

5. この保証書は、日本国内でのみ有効です。
6. この保証書は再発行いたしませんので大切に保存してください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※修理時の内容は、返却の際、修理報告書等に記載添付します。

富士フイルム株式会社

● 本製品に関するお問い合わせは…

※予め 51 ページの「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルム FinePix サポートセンター

ナビダイヤル **0570-00-1060**
市内通話料金でご利用いただけます

携帯電話・PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-1088**

⇒呼び出し音の前に NTT より通話料金の目安をお知らせします。

月曜日〜金曜日　午前　9:00 〜午後 5:40
土曜日　午前 10:00 〜午後 5:00 日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-7555** 受付時間：24 時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

● 本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://fujifilm.jp/

● 修理の受付は…

※ 51 ページの「アフターサービスについて」をご覧ください。また､予め「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■修理のご相談受付窓口　**富士フイルム修理サービスセンター**

ナビダイヤル **0570-00-0081**
⇒呼び出し音の前に NTT より通話料金の目安をお知らせします。

PHS・IP 電話・NTT 以外の固定電話など、ナビダイヤルをご利用いただけない場合は **0228-35-3586**

月曜日〜金曜日　午前　9:00 〜午後 5:40
土曜日　午前 10:00 〜午後 5:00 日・祝日・年末年始を除く

FAX **0570-06-0070** 受付時間：24 時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

■修理品ご送付受付窓口　**富士フイルム修理サービスセンター**

〒 989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字 95-1 ／ TEL:0228-35-3586

■修理品お持ち込み窓口

全国 6 箇所のサービスステーション (東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・福岡) でも修理をお受けします。

サービスステーションにつきましては、当社ホームページ http://fujifilm,jp/ をご確認ください。

● 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日〜金曜日午前 9:30 〜午後 5:00）TEL03-5786-1712

Printed in Japan

09B ① TINSJ4690SCZZ